

奇跡の目的

シリーズ～新イエス～

2025/9/7

記録されているイエスの奇跡

- ① 最初の奇跡的な大漁(ルカ5:1-11)
- ② 水をぶどう酒に変える(ヨハネ2:1-11)
- ③ 嵐を静める(マルコ4:35-41他)
- ④ 5000人の給食(マタイ14:15-21他)
- ⑤ 水の上を歩く(マタイ14:22-33他)
- ⑥ 4000人の給食(マルコ8:1-9他)
- ⑦ (魚の口の硬貨(マタイ17:24-27))
- ⑧ いちじくを枯らす(マタイ21:18-22他)
- ⑨ 2度目の奇跡的な大漁(ヨハネ21:1-14)

奇跡と「信仰」

奇 跡	信仰との関連
最初の奇跡的な大漁	イエスの言葉通り行う
水をぶどう酒に変える	イエスの言葉通り行う
嵐を静める	不信仰を嘆く
5000人の給食	信仰を試す
水の上を歩く	不信仰を嘆く
4000人の給食	信仰を試す
魚の口の硬貨	イエスの言葉通り行う
いちじくを枯らす	信じればその通りなる
2度目の奇跡的な大漁	イエスの言葉通り行う

奇跡と「信仰」

奇 跡	信仰との関連
最初の奇跡的な大漁	イエスの言葉通り行う
水をぶどう酒に変える	イエスの言葉通り行う
嵐を静める	
5000人の	
水の上を歩	
4000人の	
魚の口の硬貨	イエスの言葉通り行う
いちじくを枯らす	信じればその通りなる
2度目の奇跡的な大漁	イエスの言葉通り行う

イエスの奇跡は
すべて「信仰」と
結びついている

イエスの言葉通り(信じて)行う

・大漁の奇跡

- ・一晩中漁をしたがまったくとれなかった
- ・イエスが網を降ろすよう指示する
- ・イエスの言葉に従う:「しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましょう」

・思わぬ大漁

・水をぶどう酒に変える

- ・宴会の途中でなくなったぶどう酒
- ・イエスの言葉に従う:「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」
- ・甕の水がすべて最上のぶどう酒に変わる

不信仰を嘆く

•嵐を静める

- 突然の嵐に襲われ船が沈みそうになる
- イエスが「枕をして眠っておられた」ので、弟子たちはイエスを責めた
- 嵐を叱って静めた後、「なぜ怖がるのか。**まだ信じないのか。**」と言われた

•水上歩行

- イエスが湖上を歩いて弟子たちの船に近づいた
- ペトロも歩き始めたが沈みかけたので助けを求めた
- イエスは彼を助けつつ「**信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか**」と言われた。

信仰を試す

•5000人の給食

- イエスの教えを聞いているうち夕方になり、弟子たちは群衆を解散させて各々食べ物を買いに行かせるようイエスに進言する
- イエスは「**あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい**」と言われる
- 弟子たちは無理だと言う
- 少年が「大麦のパン五つと魚二匹」を持ってくる
- イエスが感謝の祈りをささげて分け与えた
- 残ったパンくずが12の籠にいっぱいになった(**有り余る祝福**)

信仰を試す

形ばかりの信仰

• いちじくを枯らす

- イエスが空腹を覚えたがいちじくの実がなっていなかった(いちじくの季節ではなかった)
- イエスが「今から後いつまでも、お前には実がならないように」と言うと、その木は枯れた

• 身勝手な奇跡？

- 葉ばかりで実のないいちじくの木は、立派な会堂や厳格な律法をもちながら心から主を信じていないユダヤ人の**形ばかりの信仰姿勢**を象徴している
- いちじくの木はかわいそうだけれど、信仰のあり方を教える奇跡として意義深い

弟子たちはこれを見て驚き、「なぜ、たちまち枯れてしまったのですか」と言った。イエスはお答えになった。「はっきり言っておく。あなたがたも信仰を持ち、疑わないならば、いちじくの木に起こったようなことができるばかりでなく、この山に向かい、『立ち上がって、海に飛び込め』と言っても、そのとおりになる。信じて祈るならば、求めるものは何でも得られる。」

「そんなことあるわけない！」と思った人

＞奇跡は起こりません

「そんな信仰をもちたい！」と思った人

＞奇跡が起こる可能性があります

イエスがなぜ数々の奇跡を起こしたのか

それは彼が全く疑わずに神を信じていたから

奇跡が教える「信仰」の真理

- 神の言葉通り「信じて」実行する
 - 「しかし、お言葉ですから」こそ信仰のスタート
 - 予想を超える結末が待っている
- 神は時としてわたしたちの信仰を試される
 - 自分の考えやこの世の常識に支配されていると、信仰による判断ができない
- 信仰を邪魔するもの
 - 恐怖や疑いは純粋な信仰の力を弱らせる
- 本物の信仰には不可能はない！
 - イエスは復活を信じて十字架にかかり、死からよみがえった！